

ユネスコスクール便り

平成28年12月21日
大牟田市ユネスコスクール
担当者通信 No.45



持続発展教育(ESD)

つながりを大切にし、関わりを深める児童生徒の育成

「ユネスコスクールの日」制定記念事業

**未来志向の子どもをはぐくむ
～大牟田のこれからの100年を見すえて～**

大牟田市は、全市立学校がユネスコスクールに加盟したことを記念して、毎年1月17日を「ユネスコスクールの日」と決めました。そこで、平成29年1月14日(土)に、大牟田文化会館において、次の通り、「大牟田市ユネスコスクールの日」制定記念式典、学校教育功労者表彰式および大牟田市ユネスコスクール子どもサミットが行われます。学校のみならず市民を挙げての記念セレモニーとなります。

◇制定記念式典 12:30～13:00

- ・開式の言葉
- ・主催者あいさつ
- ・来賓あいさつ
- ・制定宣言

◇学校教育功労者表彰式 13:00～13:30

◇大牟田市ユネスコスクール子どもサミット

はじめの言葉

あいさつ

オープニング 英語の歌「Seven Steps」

ふるさとのよさを世界へ、そして未来へ

- ・私たちの「大牟田の宝」を世界へ！

・「感じています ふるさとの心 つながります 未来へ」

～熊本地震からの復興・支援に感謝～

大牟田から熊本・東北へ届ける歌のメッセージ

- ・合唱「あすという日が」

笑顔いっぱい、住みよいまちへ

・桜を通した 笑顔あふれる つながりのある吉野の町づくり 吉野小学校

・地域と共に、大牟田の未来につながる中友校区 中友小学校

エンディング 歌「大牟田弁もおもしろか」

みなと小学校

講評・終わりの言葉

福岡教育大学 教授 石丸 哲史 先生



記念講演会 15:20～16:30

「大いなる夢を宇宙へむけて！！」

JAXA 宇宙航空研究開発機構 柳川 孝二 さん

大牟田市立高取小学校の実践

高取ホテルのいるまち計画

本校では、「かわり」「つながり」を尊重できる児童の育成を目指して、「持続可能な開発のための教育(ESD)」に取り組んでいます。5年生では、ホテルのすむ長溝川をいつまでも残したいという思いや願いをもとに、学習しています。長溝川の調査をもとに、川を汚す原因の一つであるごみに着目し、「登校時のごみ拾い」「校区一斉美化活動」などを企画し、全校児童や保護者、地域の方々にはたらきかけながら取り組んでいます。自分たちにできることを考え、そして、高取校区に住む皆様にホテルを大切にしたいという心を持って、主体的に環境を守る活動を展開しています。



大牟田市立銀水小学校の実践

「守っていこう、郷土の宝」の学習を通して

銀水小学校では、持続発展可能な社会を形成する資質を育てるために、福祉・環境・エネルギー教育、地域・世界遺産とのかかわりに重点を置いて学習をしています。4年生では、銀水校区の宝を調べて交流する活動を行いました。まず、学校に隣接する田隈八幡神社について、地域の方から話を聞きました。子どもたちは関心をもち、祭りに参加したり、境内の掃除をしたりする中で、いつも見ていた神社も、とても身近に感じたようでした。その後、各自で課題を設定し、白銀川調節池公園、銀水駅など「郷土の宝」について調べ、地域の方にパネルで紹介したり、友達と交流したりしました。この学習を通して、「郷土の宝を守っていききたい。」という思いが大きく膨らんできたようです。

